

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【公開番号】特開2013-1100(P2013-1100A)
 【公開日】平成25年1月7日(2013.1.7)
 【年通号数】公開・登録公報2013-001
 【出願番号】特願2011-138087(P2011-138087)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)
G 0 6 F 3/12 (2006.01)
B 4 1 J 29/42 (2006.01)

【 F I 】

B 4 1 J 29/38 Z
 G 0 6 F 3/12 A
 G 0 6 F 3/12 E
 B 4 1 J 29/42 F

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月11日(2014.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 2 】

C P U 2 0 5 が、処理対象のノードに子ノードがあると判断した場合は、ステップ S 3 4 に進む。C P U 2 0 5 が、処理対象のノードに子ノードがないと判断した場合は、ステップ S 3 9 に進む。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 2 】

C P U 2 0 5 が、ジョブ投入画面上で指定された、各階層に使用するインデックス紙の給紙段に載置されているインデックス紙の数と、必要インデックス数テーブル 1 1 0 1 に格納された必要インデックス数 (T _L) とに基づき、以下の処理を実行する。各給紙段に載置されているインデックス紙の数は、予め登録されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 7 】

図 1 3 に示す挿入インデックス紙変更画面上には、各給紙段を示すアイコンが表示されている。この例では、C P U 2 0 5 は、給紙段 2 を示すアイコン 1 0 0 を、給紙段 2 のインデックス数が不足していることを示す表示形式で表示する。また、この例では、給紙段 5 に載置されているインデックスの数が、必要インデックス数の 3 以上であるものとする。従って、C P U 2 0 5 は、給紙段 5 を示すアイコン 2 0 0 を、当該給紙段 5 が給紙段 2

に代替できることを示す表示形式で表示する。すなわち、CPU 205は、載置されたインデックス紙の数が給紙段に対応する階層に対応するインデックス紙の数の最大値以上である給紙段を示す情報を表示する。ユーザが処理続行指示をする場合、ユーザは、挿入インデックス紙変更画面上のOKボタンを押し下げする。

【手続補正4】

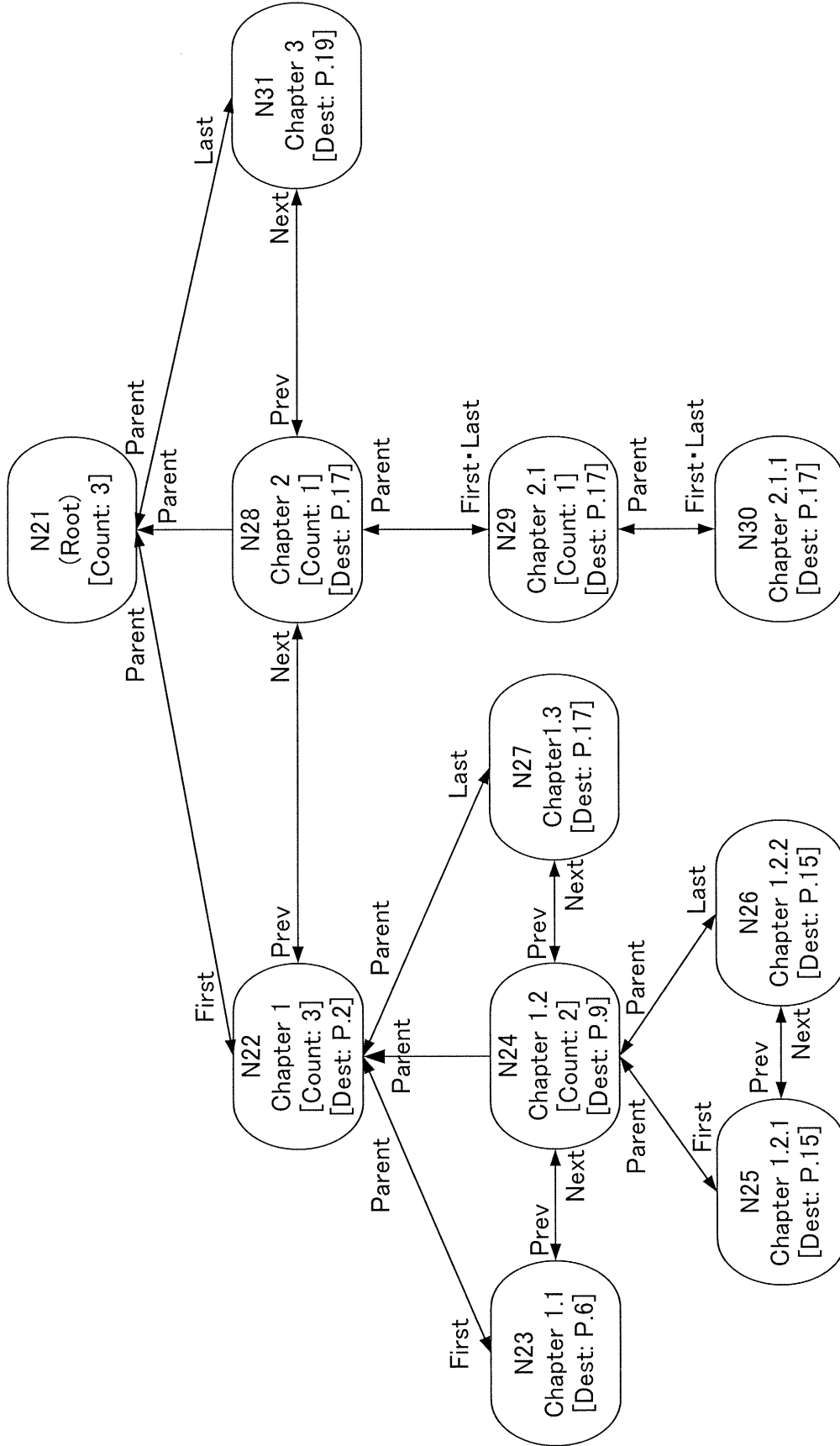
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 8 】



【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 1 5

- 【補正方法】変更
- 【補正の内容】
- 【図 1 5】

